



朽木中だより



令和2年度学校だより 第2号 令和2年5月7日 高島市立朽木中学校（文責 澤 悦弘）

頑張ろう 朽木中学校の生徒たち やがて 元の生活に戻れる！

新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校が続いており、自宅での生活、家庭学習を行っていただいています。「今すぐに」という兆しがなかなか見えませんが、きっと、そんなに遠くはない時期に、今までと同じ生活ができるものと期待しています。それまでの間、頑張りましょう。

家庭学習の配付と回収

毎週木曜日の午前中

【お願い】受け渡し用の箱の設置

これまでに引き続き、毎週木曜日の午前中、9時から10時半頃に職員がそれぞれのお家に、1週間分の課題をお届けします。

お届けするのと同時に、1週間の学習プリントや「スクールライフ」（生活記録 特別版）を回収します。

先日のメール配信でもお願いしましたが、配付と回収をするための箱（袋などでもかまいません）を、玄関先に準備していただきますようお願いいたします。職員が伺ったときに配付物を入れ、提出いただくものをそこから持ち帰らせていただきます。

学級担任との電話

火曜日と金曜日

電話についてもこれまで通り、火曜日と金曜日に学級担任からかけさせていただきます。みなさんが無事、元気に過ごしてるかを聞くためです。悩んでいることがあればそのときに話してください。なお、学級担任が都合つかないときには他の職員がかけますが、朽木中学校の職員以外がかけることはありません。

電話相談

希望あれば遠慮なく

「教育相談だより PINKO」に掲載しましたように、自分の気持ちを話したいなー、話してみようかなーと思ったら気軽に電話してみてください。朽木中学校であれば玉田スクールカウンセラーがおられます。他の先生たちに話してみてもかまいません。「保健だより 第2号」にもあるように、今回のウイルスで心配するのは感染が体だけにとどまらず、心にも及ぶこともあるところです。一人で抱え込むことなく、電話相談を気軽に利用してください。対象は小中学生だけでなく、保護者の方を対象にした相談機関もあります。朽木中学校の電話相談日や、他の相談機関の電話番号などは「教育相談だより PINKO」をご覧ください。

学習支援のサイトの紹介

インターネット上に学習教材（学習プリントや動画）が掲載されています。「滋賀 子どもの学びの場」で検索すれば滋賀県総合教育センターのホームページにもつながり、学習のことでだけでなく、運動のことや生活面のことなどを掲載されているサイトが紹介されています。欲しいものが見つかるかもしれません。学校からの課題の合間に探ってみてはいかがでしょうか。

令和2年度 朽木中学校 努力目標

1. 自分で考え 行動する

2. 「人は人のために生きてこそ人である」

生徒のみなさんは、放送での始業式や入学式だ話したこと、覚えているでしょうか。上の写真は、今年度、みなさんに心がけてほしいこととして話したことです。

世間は大変な状況ですが、そんな中で、自分のことだけを考えるのではなく、周りの人たちのことを考えて行動している様子や、以前に行ったことが周りの人のためになっている様子を見たり聞いたりします。

次の写真は、朽木支所の玄関です。



写っている花は、昨年度、環境委員会のメンバーや、地域学校協働本部「結の会」の人たちなどで、パンジーやビオラの種をまき、プランターへの植え替えなどをして育ててくださったものです。朽木支所や公民館、朽木こども園に持って行き、飾っていただいています。環境委員や結いの会の人たちに感謝です。

学級担任の先生との電話で、こんな話をしてくれた生徒がいたようです。「お父さんもお母さんも仕事が大変。洗濯、家の掃除、食器洗いなど、私がたくさん担当している。毎日やっているのだから慣れてきた。」

以前にしていたことが人のためになったり、大変な人のために自分にできることを一生懸命にやっている様子を見たり聞いたりすると、心がほっとします。

さて、あなたには何ができるでしょうか。

「令和」になって1年

元号が「令和」になって1年が経ち、違和感なく使ったり聞いたりするようになりました。5月1日付の読売新聞に次のような記事がありましたので紹介します。

共に律し「厄」逃れよう

国文学者 中西 進さん

元号が「令和」になってから1年が過ぎ、様々な場所で元号を目にする機会が多くなったと思います。企業や学校の名前にもなりましたね。元号に形はありませんが口にすれば知らず知らずのうちに体に残り、社会を良い方向に向かわせてくれます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛が続く、先の見えない閉塞感が漂っています。「令和」を大事にすることが、この大変な不幸を乗り越え、ウイルスに打ち勝つことにつながるかもしれません。「令」を中国の辞書で確認すると、「令は善なり」とあります。善だからこそ人は自らを律し、令に従います。そして、自覚を持った責任ある行動の中で、皆と共に仲良く過ごすのが「和」です。皆と共に自らを律して「厄」を逃れる。今こそ「令和」をかみしめて行動するときだと思います。日本はしなやかな「屈伸力」を美としてきた国です。今じっとすることが、結果として病を遠ざけ、幸せな未来を広げることにつながるはずで



左の写真は、「大津プリンスホテル」を撮影されたものです。客室の明かりで「ガンバロウ 日本」の文字を照らされていたようです。

元通りの生活ができるまで、みんなで頑張りましょう。